

豆知識

質問は…?

弊社の地図編集室によくある質問にお答えしました。

山の高さをはかるとき、 どこを基準にして「高さ」をはかるのでしょうか？

山の高さのはかり方ですが、「高さ」といった場合、どこを基準にするかを決めなくてはなりません。日本ではこれを東京湾の平均海面としています。しかし測量のたびに東京湾からはかるのでは不便なため、この海面より24.414mにある東京永田町に、すべての高さの基準となる地点「水準点の測量原点」というものがおかれています。この24.414mの原点を基にして山の高さをはかります。水準点の測量原点は、東京都千代田区永田町 憲政記念館構内にあります。

おおさかは、なぜ「大阪」と書くの？ 「大坂」ではないのですか？

「大阪」は古代には難波と呼ばれていました。1496年、石山本願寺が開かれてからは門前町として発展し、1583年、豊臣秀吉が大坂城を築いてからは城下町になりました。さらに江戸時代には「天下の台所」として商業で、明治時代以降は紡績中心の近代工業で繁栄しています。

明治時代以前には「大坂」と表記していましたが、1871年大阪府が「大阪」と改めました。なぜかといいますと、「坂」も「阪」も、一方は高く一方は低い、傾斜した勾配のある道を意味しますが、坂の字は土へんのため「土に帰る」ということで知られていました。

一方⚭は阜と同じで、岡という意味のほか「さかんに」「ゆたかに」という意味ももっています。そのため、縁起をかついで「阪」に改めたということです。

明治以降、江戸が東京に、神奈川が横浜に、駿府が静岡に、などと地名が改められ、新しい時代をむかえる気運があったことも関係していると思われます。